

1 個人による推薦

(秋田市農業委員会の委員候補者の推薦および募集に関する要綱第3条第1項)

番号1

被推薦者（推薦を受ける者）								
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別
				年月	職名・役職・委員名等	営農類型	経営規模	
星 容子	女	47	農業	R2.7～ R6.6～ R1.3～	秋田市農業委員 JA秋田なまはげ 監事 JA秋田なまはげ 直売所「いぶきの里」運営協議会会長	玉ねぎ、キャベツ、その他	1ha50a	認定を受けている
推薦者								
氏名	性別	職業		農地利用最適化推進委員への推薦				
菅原 正人	男	農業		推薦していない				
<p>(推薦理由)                      地域農業の実情に精通し、農業者との信頼関係を大切にしながら、常に公正かつ誠実な姿勢で活動してきました。農地利用や担い手育成などの課題についても高い関心と理解を有し、地域全体の調和を考えた判断が期待できます。これらのことから適任であると認め、ここに推薦いたします。</p> <p>(農業情勢や本市農業への認識・理解度)                      近年の農業情勢は、全国的な高齢化や担い手不足、資材価格の高騰などにより、厳しさを増していると認識しています。秋田市農業の特性や地域ごとの実情を十分に理解し、現場の声を尊重した施策や支援が求められていると考えています。</p> <p>(農業委員の活動に役立つ知識・経験)                      農業に関する基礎的な知識に加え、地域農業の現場で培ってきた経験を通じて、農地利用の実態や農業者が抱える課題について理解を深めてきました。</p> <p>(地域における活動など、これまでの活動)                      これまで、地域の一員として農業や地域活動に継続的に関わり、農業者同士の連携や地域の維持、活性化に努めてきました。経験を通じて培った地域理解と人とのつながりを秋田市農業の振興や農業委員としての活動に生かしていきたいと考えております。</p>								

番号2

被推薦者（推薦を受ける者）								
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別
				年月	職名・役職・委員名等	営農類型	経営規模	
加賀屋 慎一	男	65	農業	S55.7～H26.2 H29.7～R2.6 R2.7～現在 R3.4～現在 R7.4～現在	新あきた農業協同組合 秋田市農地利用最適化推進委員 秋田市農業委員 JA秋田なまはげ下通支部支部長 秋田市旭川筋土地改良区副理事長	水稻	524a	認定を受けている
推薦者								
氏名	性別	職業		農地利用最適化推進委員への推薦				
佐藤 優	男	農業		推薦していない				
<p>(推薦理由)                      農業者や集落の声を行政や関係団体へ届け、魅力ある農業振興に相応しい人材である。また、農業委員として6年間務めた実績を踏まえ、地区のリーダーとして期待しているので農業委員に推薦します。</p> <p>(農業情勢や本市農業への認識・理解度)                      農協職員として経験と実績もあり、本市農業への認識・理解度も高いと評価できる。</p> <p>(農業委員の活動に役立つ知識・経験)                      農地法に基づく許可など地域振興を図り積極的に行動している。また、農協職員としての知識と経験もある。</p> <p>(地域における活動など、これまでの活動)                      今まで秋田市消防団外旭川分団長、地元町内会役員として活動しており、現在も旭川筋土地改良区副理事長、JA支部長として活動している。また、地域の農業者として積極的に担い手対策など貢献している。</p>								

番号3

被推薦者（推薦を受ける者）								
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別
				年月	職名・役職・委員名等	営農類型	経営規模	
小山田 邦子	女	62	無職	S61.4 H20.4  H21.4 H23.4  H26.4 R2.4 R6.3  R7.3	秋田市役所入所 市農林部農林総務課管理担当 主席 主査 市農林部農林総務課農林業政策担当 市農林部農林総務課庶務担当 副参事 市観光物産課 参事 秋田市農業委員会事務局長 秋田市農業委員会事務局長（役職定年） 退職	経営していない		認定を受けていない
推薦者								
氏名	性別	職業		農地利用最適化推進委員への推薦				
奈良 裕哉	男	会社員		推薦していない				
<p>(推薦理由) 被推薦者は長年、市役所において行政実務に従事し、法令に基づく適正な事務執行に精通しています。農業委員会においても、農地法等の専門的な視点から客観的かつ厳正な判断を下し、委員会の円滑な運営に大きく貢献できる人材であると考へ、推薦いたします。</p> <p>(農業情勢や本市農業への認識・理解度) 被推薦者は、市農林部農林総務課や農業委員会事務局に在職中に、農業振興地域整備法および農地法関連の業務に携わり理解が深いとともに、農業委員会事務局長として、本市農業の現状や課題等農業情勢全般を熟知しております。</p> <p>(農業委員の活動に役立つ知識・経験) 市役所職員時代に培った法令遵守はもとより、異なる意見をとりまとめる力や、論理的かつ中立的な判断力が備わっている。</p> <p>(地域における活動など、これまでの活動) 農業委員会事務局長として在職中は、農業者団体や農業者との対話を重視し、地域の意見・要望の集約に努める姿勢は、他の職員の模範となっていた。</p>								

番号4

被推薦者（推薦を受ける者）								
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別
				年月	職名・役職・委員名等	営農類型	経営規模	
高橋 長寿	男	75	農業	H15～H27 H28～現在 R2～現在 R6～現在	秋田市農業協同組合理事 株式会社寿牧場代表取締役 秋田県家畜商業協同組合副理事長 株式会社夢ファーム代表取締役	稲作 黒毛和種	32ha 約600頭	認定を受けている
推薦者								
氏名	性別	職業		農地利用最適化推進委員への推薦				
鎌田 舛雄	男	農業		推薦していない				
<p>(推薦理由) 圃場整備に連動し、地域農業の担い手として農地の集積・集約化を行い、法人を設立しその代表として先駆的に経営を行っている。これは他の農業経営の指針ともなり、また与える影響は多大なものがあり、農業委員として指導的役割を發揮すべき人材と考へ推薦するものです。</p> <p>(農業情勢や本市農業への認識・理解度) 本市農業は稲作を中心とするものであるが、畜産や高収益作物の栽培等多角的経営も重要となる。特に畜産と連携した有機物の投入活用は将来性が見込まれる農業と考へておりそれを実践している。</p> <p>(農業委員の活動に役立つ知識・経験) 農協理事4期12年務め地域農業の現状・実態を把握している。また同時にその抱える課題についても適格に私見を有しており知識・経験は十分である。 また、それらの活動が高く評価され、平成11年農林水産大臣賞受賞、平成12年には秋田県農業指導士として稲作、和牛部門で認定された。 なお、全国和牛能力共進会において全国第2位にランクされ県農業発展に多大に寄与している。</p> <p>(地域における活動など、これまでの活動) 様々な知見・経験に基づいた講演会を各地において実施し、多くの農業者へそのノウハウ等を披歴し地域農業の発展に寄与している。 今後は、有機活用農業の推進に尽力することとしている。</p>								